

家政経済学科

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

家政経済学科では、私たち一人ひとりの生活をめぐる社会的課題や経済的課題について、経済学を基に家政学や経営学、政治学などの知識を活かし、生活者の視点から学際的に研究する。これを通じて複雑化する様々な課題の解決方法を探り、学びを行動に活かし、持続可能な社会を構築するために貢献できる人間の育成を目的とする。そのため、以下の能力の修得を教育上の目標とする。

- DP1 経済学、家政学、経営学、政治学など幅広い社会科学領域の基礎知識を身につけている。【大学 DP1】
- DP2 課題に関係する情報を多様な手段を組み合わせることで収集できる。【大学 DP2】
- DP3 選択したコースの専門分野の知識と分析手法を身につけ、社会的課題または経済的課題について分析することができる。【大学 DP1・2】
- DP4 経済と生活の全体性をとらえる視野を持って、生活をめぐる様々な社会的課題や経済的課題を把握し、その解決のために何が自分にはできるか考えようとするための能力を身につけている。【大学 DP1・DP4】
- DP5 他者の意見を傾聴し、それに位置づけながら自らの意見を述べ、目的達成のために仲間と協働することができる。【大学 DP2・3】
- DP6 自分の考えをアカデミック・ライティングの方法に則って、論文・レポートとして表現することができる。【大学 DP2】
- DP7 自己の利益だけでなく社会や自然への影響を考えながら、多様な立場の人々の幸せや持続可能な社会の実現に配慮して生活する方法を理解できる。【大学 DP3・4】